

標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）	修正案
<p>⑤運営等に関する基準</p> <p>a 対象者にとって受診が容易になるよう、利用者の利便性に配慮した健診（例えば、土日・祝日に行うなど）を実施するなど受診率を上げるよう取り組むこと。</p> <p>b 医療保険者の求めに応じ、医療保険者が適切な健診の実施状況を確認する上で必要な資料の提出等を速やかに行うこと。</p> <p>c 健診実施者に必要な研修を定期的に行うこと等により、当該健診実施者の資質の向上に努めていること。</p> <p>d 本プログラムに定める内容の健診を適切かつ継続的に実施することができる財務基盤を有すること。</p> <p>e 医療保険者から受託した業務の一部の再委託が行われる場合には、医療保険者が委託先と委託契約を締結するに当たり、当該委託契約において、再委託先との契約において本基準に掲げる事項を遵守することを明記すること。</p>	<p>⑤運営等に関する基準</p> <p>a 対象者にとって受診が容易になるよう、利用者の利便性に配慮した健診（例えば、土日・祝日に行うなど）を実施するなど受診率を上げるよう取り組むこと。</p> <p>b 医療保険者の求めに応じ、医療保険者が適切な健診の実施状況を確認する上で必要な資料の提出等を速やかに行うこと。</p> <p>c 健診実施者に必要な研修を定期的に行うこと等により、当該健診実施者の資質の向上に努めていること。</p> <p>d 本プログラムに定める内容の健診を適切かつ継続的に実施することができる財務基盤を有すること。</p> <p>e 医療保険者から受託した業務の一部の再委託が行われる場合には、医療保険者が委託先と委託契約を締結するに当たり、当該委託契約において、再委託先との契約において本基準に掲げる事項を遵守することを明記すること。</p> <p>f <u>次に掲げる事項の運営についての重要事項に関する規程を定め、健康診断機関のみやすい場所に当該規定の概要等の掲示や、ホームページ上での掲載等を通じて、当該規程の内容を広く周知すること。</u></p> <p>一 事業の目的及び運営の方針</p> <p>二 従業者の職種、員数及び職務の内容</p> <p>三 健康診査の実施日及び実施時間</p> <p>四 健康診断の内容及び価格その他の費用の額</p> <p>五 通常の事業の実施地域</p> <p>六 緊急時における対応</p> <p>七 その他運営に関する重要事項</p> <p>g <u>健康診断実施者に身分を証する書類を携行させ、健診受診者から求められたときは、これを掲示すること。</u></p> <p>h <u>健康診断実施者の清潔の保持及び健康状態について、必要な管理を行うとともに、健康診断機関の設備及び備品等について、衛生的な管理を行うこと。</u></p> <p>i <u>健康診断機関について、虚偽又は誇大な広告を行わないこと。</u></p> <p>j <u>健診受診者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置する等の必要な措置を講じるとともに、苦情を受け付けた場合には、当該苦情の内容等を記録すること。</u></p> <p>k <u>従業者及び会計に関する諸記録を整備すること。</u></p>

新健診と各種健診の健診項目の比較

健診項目	新健診	老人保健事業	労働安全衛生	新健診と老健事業との比較	備考	
		健康診査	定期健康診断			
診 計	質問(問診)	○	○			
	身長	○	○	□		
		体重	○	○	○	
		肥満度・標準体重	○	○	○	
	腹囲	○			新規追加	メタボリックシンドローム判定基準の項目であるため。
		視力		○		
	聴力		○			
	理学所見(身体診察)	○	○	○		
	血圧	○	○	○		
	脂質	総コレステロール定量	○	■	廃止	(間接法にてLDL-Cを算出する際は、実際に測定する)
中性脂肪		○	○	■		
黄	HDLコレステロール	○	○	■		
	LDLコレステロール	○			新規追加 独立した心血管危険因子の判定指標として有用であるため。	
肝機能	AST(GOT)	○	○	■		
	ALT(GPT)	○	○	■		
代 謝 系	γ-GT(γ-GTP)	○	○	■		
	空腹時血糖	○	○	■1		
尿 液 一 般	尿糖	□	○	□	必須一選択 血糖、HbA1c測定により、より正確な診断が可能であるため。	
	血尿酸値	○			新規追加 メタボリックシンドローム判定時の参考指標として有用であるため。	
	ヘモグロビンA1c	○	□	■1	選択一必須 高血糖状態の判定をより正確に行うため。	
血 液 一 般	ヘマトクリット値	□	□			
	血色素測定	□	□	■		
	赤血球数	□	□	■		
尿 ・ 腎機能	尿蛋白	□	○	○	必須一選択 血清クレアチニン等である程度の腎障害は判定できるため。	
	潜血	□	○	○	必須一選択	
	尿沈渣					
心機能	血清クレアチニン	○	○			
	12誘導心電図	□	□	■		
肺	胸部X線		○			
	喀痰細胞診			□		
眼底検査	□	□				

- … 必須項目
- … 医師の判断に基づき選択的に実施する項目
- … 35歳及び40歳以上の者については必須項目、それ以外のものについては医師の判断に基づき選択的に実施する項目
- 1… いずれかの項目の実施で可

新健診と各種健診の健診項目の比較

健診項目	新健診	特定健康診査	老人保健事業	特定健康診査と老健事業との比較	備考	
		健康診査	基本健康診査			
診 計	質問(問診)	○	○			
	身長	○	○			
		体重	○	○		
		肥満度・標準体重	○	○		
	腹囲	○			新規追加	メタボリックシンドローム判定基準の項目であるため。
		理学所見(身体診察)	○	○		
	血圧	○	○			
	脂質	総コレステロール定量	○	○	廃止	(間接法にてLDL-Cを算出する際は、実際に測定する)
		中性脂肪	○	○		
	黄	HDLコレステロール	○	○		
LDLコレステロール		○			新規追加 独立した心血管危険因子の判定指標として有用であるため。	
肝機能	AST(GOT)	○	○			
	ALT(GPT)	○	○			
代 謝 系	γ-GT(γ-GTP)	○	○			
	空腹時血糖	■	○		ヘモグロビンA1c検査を実施した場合には、必ずしも、空腹時血糖を実施する必要がないため。	
尿 液 一 般	尿糖	□	○	□		
	ヘモグロビンA1c	■	□			
	ヘマトクリット値	□	□			
血 液 一 般	血色素測定	□	□			
	赤血球数	□	□			
	尿蛋白	○	○			
尿 ・ 腎機能	潜血	□	○	廃止	尿蛋白検査を実施した場合には、必ずしも、尿潜血を実施する必要がないため。	
	血清クレアチニン	○	○	廃止	腎機能障害の早期把握が尿蛋白検査により可能であるため。	
心機能	12誘導心電図	□	□			
眼底検査		□	□			

- … 必須項目
- … 医師の判断に基づき選択的に実施する項目
- … いずれかの項目の実施で可

「詳細な健診（精密健診）」項目の選定について

精密健診項目の選定に当たっては、以下の基準に該当する者について、特に配慮するとともに、受診者の性、年齢、前年の健診結果等についても考慮する。

なお、他の医療機関において行った最近の結果が明らかで、再度検査を行う必要がないと判断される者、又は現に高血圧、心臓病等の疾患により医療機関において管理されている者は、下記の条件に該当する場合であっても、医師の判断により選択検査の一部又は全部を省略して差し支えない。

(1) 心電図検査

- 収縮期血圧 140mmHg 以上又は拡張期血圧 90mmHg 以上
- 質問票・質問項目（4～7）*のうち、1項目以上該当する者
- 肥満（内臓脂肪型肥満を有する者、又は BMI>25 の者）
- 不整脈又は心雑音の認められる者

(2) 眼底検査

- 心電図検査対象者のうち医師が必要と認める者
- 特に、糖尿病が疑われる者（HbA1c6.1%以上）、又は糖尿病の既往歴がある者

(3) 尿検査（尿糖、尿蛋白、尿潜血）

- 糖尿病あるいは腎疾患の既往歴を有する者のうち医師が必要と認める者

(4) 貧血検査

- 貧血の既往歴を有する者又は視診等で貧血が疑われる者

※質問票・質問項目（4～7）

	質問項目	回答
4	医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい②いいえ
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい②いいえ
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けたことがありますか。	①はい②いいえ
7	現在、たばこを習慣的に吸っている。 （※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計 100 本以上、又は 6ヶ月以上吸っている者」であり、最近 1ヶ月間も吸っている者）	①はい②いいえ

「詳細な健診」項目の選定について

以下の基準に該当する者のうち、医師が必要と認める者については、詳細な健診を実施する（基準に該当した者すべてに対して当該健診を実施することは適当ではなく、受診者の性、年齢等を踏まえ、医師が個別に判断する必要がある）。その際、健診機関の医師は、当該健診を必要と判断した理由を医療保険者へ示すとともに、受診者に説明すること。

なお、他の医療機関において行った最近の結果が明らかで、再度検査を行う必要がないと判断される者、現に高血圧、心臓病等の疾患により医療機関において管理されている者については、詳細な健診を行う必要はない。また、健康診査の結果から、医療機関として直ちに受診する必要がある者については、受診を勧奨する。

(1) 心電図検査

- 前年の健診結果等において、①血圧、②脂質、③血糖、④肥満の全ての項目について、以下の基準に該当した者

(2) 眼底検査

- 前年の健診結果等において、①血圧、②脂質、③血糖、④肥満の全ての項目について、以下の基準に該当した者

(3) 貧血検査

- 貧血の既往歴を有する者又は視診等で貧血が疑われる者

【判定基準】

①血糖	a 空腹時血糖	100mg/dl 以上	又は
	b HbA1c の場合	5.2% 以上	
②脂質	a 中性脂肪	150mg/dl 以上	又は
	b HDL コレステロール	40mg/dl 未満	
③血圧	a 収縮期	130mmHg 以上	又は
	b 拡張期	85mmHg 以上	
④肥満	a 腹囲 M ≥ 85cm, F ≥ 90cm		又は
	b BMI ≥ 25		

標準的な質問票

	質問項目	回答	分野	リソース
1-3	現在、a から c の薬の使用の有無		服薬歴	国民健康・栄養調査 (H16) の問診項目に準拠
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
2	b. インスリン注射又は血糖を下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
3	c. コレステロールを下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
4	医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
7	現在、たばこを習慣的に吸っている。 （※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計 100 本以上、又は 6 ヶ月以上吸っている者」であり、最近 1 ヶ月間も吸っている者）	①はい ②いいえ	喫煙	国民健康・栄養調査 (H16) の問診項目に準拠
8	20 歳の時の体重から 10kg 以上増加している。	①はい ②いいえ	体重	保健指導分科会
9	1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
10	日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
11	同世代の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
12	この 1 年間で体重の増減が ±3 kg 以上あった。	①はい ②いいえ	体重	保健指導分科会
13	早食い・ドカ食い・ながら食が多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
14	就寝前の 2 時間以内に夕食を取ることが週に 3 回以上ある。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
15	夜食や間食が多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
16	朝食を抜くことが多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
17	ほぼ毎日アルコール飲料を飲む。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
18	睡眠で休養が得られている。	①はい ②いいえ	休養	保健指導分科会

標準的な質問票

	質問項目	回答	分野	リソース
1-3	現在、a から c の薬の使用の有無		服薬歴	国民健康・栄養調査 (H16) の問診項目に準拠
1	d. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
2	e. インスリン注射又は血糖を下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
3	f. コレステロールを下げる薬	①はい ②いいえ	服薬歴	
4	医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	既往歴	糖尿病実態調査 (H14) の問診項目に準拠
7	現在、たばこを習慣的に吸っている。 （※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計 100 本以上、又は 6 ヶ月以上吸っている者」であり、最近 1 ヶ月間も吸っている者）	①はい ②いいえ	喫煙	国民健康・栄養調査 (H16) の問診項目に準拠
8	20 歳の時の体重から 10kg 以上増加している。	①はい ②いいえ	体重	保健指導分科会
9	1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
10	日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
11	同世代の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ	運動	保健指導分科会
12	この 1 年間で体重の増減が ±3 kg 以上あった。	①はい ②いいえ	体重	保健指導分科会
13	早食い・ドカ食い・ながら食が多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
14	就寝前の 2 時間以内に夕食を取ることが週に 3 回以上ある。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
15	夜食や間食が多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
16	朝食を抜くことが多い。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
17	ほぼ毎日アルコール飲料を飲む。	①はい ②いいえ	栄養	保健指導分科会
18	睡眠で休養が得られている。	①はい ②いいえ	休養	保健指導分科会

血圧測定、腹囲計測等の手順（測定時の留意点）

血圧測定、腹囲計測等については、これまで老人保健法による健康診査及び国民健康・栄養調査等で行われてきた測定手法に準じ、以下のように実施すること。

(1) 血圧測定

血圧測定については、「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）を参考とする。

なお、測定回数は原則 2 回とし、その 2 回の測定値の平均値をもって、提出データとすること。現場の実施状況に応じて、1 回測定についても可とする。

(2) 腹囲計測

メタボリックシンドロームの診断基準に基づき、立位、軽呼吸時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定する。より詳細については、平成 16 年国民健康・栄養調査必携（厚生労働省）を参考とする（「標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）」添付資料の学習教材集に掲載）。

なお、具体的な測定方法の映像については、独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページ（<http://www.nih.go.jp/eiken/>）に掲載する（予定）。

(3) 検尿

測定手技及び判定については、「循環器病予防ハンドブック」等を参考とする。

(4) 眼底検査

手技については、「循環器病予防ハンドブック」等を参考とする。

血圧測定、腹囲計測等の手順（測定時の留意点）

血圧測定、腹囲計測等については、これまで老人保健法による健康診査及び国民健康・栄養調査等で行われてきた測定手法に準じ、以下のように実施すること。

(1) 血圧測定

血圧測定については、「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）を参考とする。

なお、測定回数は原則 2 回とし、その 2 回の測定値の平均値をもって、提出データとすること。現場の実施状況に応じて、1 回測定についても可とする。

(2) 腹囲計測

メタボリックシンドロームの診断基準に基づき、立位、軽呼吸時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定する。より詳細については、平成 16 年国民健康・栄養調査必携（厚生労働省）を参考とする（「標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）」添付資料の学習教材集に掲載）。

なお、具体的な測定方法の映像については、独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページ（<http://www.nih.go.jp/eiken/>）に掲載する（予定）。

(3) 検尿

測定手技及び判定については、「循環器病予防ハンドブック」等を参考とする。

(4) 眼底検査

手技については、「循環器病予防ハンドブック」等を参考とする。

健診検査項目の健診判定値

番号	項目コード (JLAC10)	項目名	データ基準		データタイプ	単位	検査方法	備考
			保健指導判定値	受診勧奨判定値				
1	303610	トリグリセリド	150	150	数字	mg/dl	1:酵素比色法・グリセロール消去	空腹時の測定を原則とした判定値
					数字	mg/dl	2:酵素UV法・グリセロール消去	空腹時の測定を原則とした判定値
2	303850	HDLコレステロール	39	39	数字	mg/dl	直接法(非沈澱法)	
3	303890	LDLコレステロール	120	140	数字	mg/dl	直接法(非沈澱法)	実測値あるいは計算値を入力
4	302700	空腹時血糖	100	126	数字	mg/dl	1:ヘキソキナーゼ・UV法	
					数字	mg/dl	2:ブドウ糖酸化酵素電極法	
					数字	mg/dl	3:ブドウ糖脱水素酵素法	
302710	随時血糖	140	(180)	数字	mg/dl	1:ヘキソキナーゼ・UV法	食後時間「hhmm(時・分表記)」	
				数字	mg/dl	2:ブドウ糖酸化酵素電極法	食後時間「hhmm(時・分表記)」	
				数字	mg/dl	3:ブドウ糖脱水素酵素法	食後時間「hhmm(時・分表記)」	
5	302160	血清尿酸	7.0	8.0	数字	mg/dl	1:ウリカーゼ・ヘルオキシダーゼ法	小数点以下1桁
					数字	mg/dl	2:ウリカーゼ・UV法	小数点以下1桁
6	302880	HbA1c	5.5	6.1	数字	%	1:不安定分画除去HPLC法	小数点以下1桁
					数字	%	2:免疫学的方法	小数点以下1桁
7	300340	GOT(AST)	46	50	数字	IU/l 37℃	JSCC標準化対応法	
8	300390	GPT(ALT)	40	50	数字	IU/l 37℃	JSCC標準化対応法	
9	300690	γ-GT(γ-GT P)	80	100	数字	IU/l 37℃	IFCC(JSCC)標準化対応法	
10	302110	血清クレアチニン	1.2(男性) 1.0(女性)	1.4(男性) 1.1(女性)	数字	mg/dl	1:酵素法	小数点以下1桁
					数字	mg/dl	2:Jaffe直接測定法	小数点以下1桁
					数字	mg/dl	3:ドライケミストリ法	小数点以下1桁
11	200060	血色素量〔ヘモグロビン値〕	13.0(男性) 12.0(女性)	12.0(男性) 11.0(女性)	数字	g/dl	自動血球算定装置	小数点以下1桁(血色素量の上限度については、健診判定値、受診勧奨判定値とも男性18.0、女性16.0とすることを換算する。)

※1～3のデータ基準については日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患診療ガイドライン」、4については日本糖尿病学会「糖尿病治療ガイド」、5については日本高血圧・脂質代謝学会「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」の各判定基準に基づく。

※6のデータ基準については日本糖尿病学会メタボリックシンドローム(予備群)検討委員会の検討結果に基づく。

※7～10のデータ基準については人間ドック学会作成の「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」に基づく。今後関連学会における検討等により、修正を加えていく。

※11のデータ基準については、WHOの貧血の判定基準、人間ドック学会作成の「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」のデータ等に基づく。

※検査方法については、それぞれの検査項目毎に90%以上をカバーするものを記載した。

健診検査項目の健診判定値

番号	項目コード (JLAC10)	項目名	データ基準		データタイプ	単位	検査方法	備考
			保健指導判定値	受診勧奨判定値				
1		血圧(収縮期)	130	140	数字	mmHg		
2		血圧(拡張期)	85	90	数字	mmHg		
3	303610	トリグリセリド	150	300	数字	mg/dl	1:酵素比色法・グリセロール消去	空腹時の測定を原則とした判定値
					数字	mg/dl	2:酵素UV法・グリセロール消去	空腹時の測定を原則とした判定値
4	303850	HDLコレステロール	39	34	数字	mg/dl	直接法(非沈澱法)	
5	303890	LDLコレステロール	120	140	数字	mg/dl	直接法(非沈澱法)	実測値あるいは計算値を入力
6	302700	空腹時血糖	100	126	数字	mg/dl	1:ヘキソキナーゼ・UV法	
					数字	mg/dl	2:ブドウ糖酸化酵素電極法	
					数字	mg/dl	3:ブドウ糖脱水素酵素法	
7	302880	HbA1c	5.2	6.1	数字	%	1:不安定分画除去HPLC法	小数点以下1桁
					数字	%	2:免疫学的方法	小数点以下1桁
8	300340	GOT(AST)	31	61	数字	IU/l 37℃	JSCC標準化対応法	
9	300390	GPT(ALT)	31	61	数字	IU/l 37℃	JSCC標準化対応法	
10	300690	γ-GT(γ-GT P)	51	101	数字	IU/l 37℃	IFCC(JSCC)標準化対応法	
11	200060	血色素量〔ヘモグロビン値〕	13.0(男性) 12.0(女性)	12.0(男性) 11.0(女性)	数字	g/dl	自動血球算定装置	小数点以下1桁(血色素量の上限度については、健診判定値、受診勧奨判定値とも男性18.0、女性16.0とすることを換算する。)

※1～2のデータ基準については日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン」の判定基準に基づく。

※3～5のデータ基準については日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患診療ガイドライン」等の判定基準に基づく。

※6～7のデータ基準については日本糖尿病学会「糖尿病治療ガイド」等の判定基準に基づく。

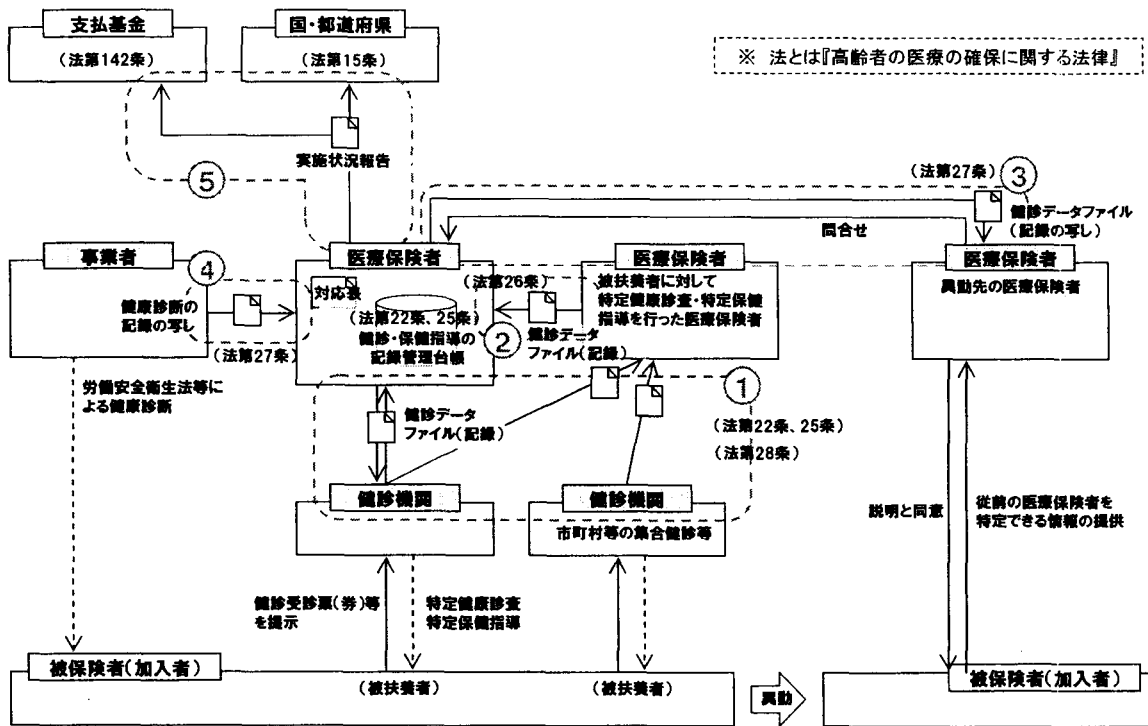
※8～10のデータ基準については日本消化器病学会肝機能研究班意見書に基づく。

※11のデータ基準については、WHOの貧血の判定基準、人間ドック学会作成の「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」のデータ等に基づく。

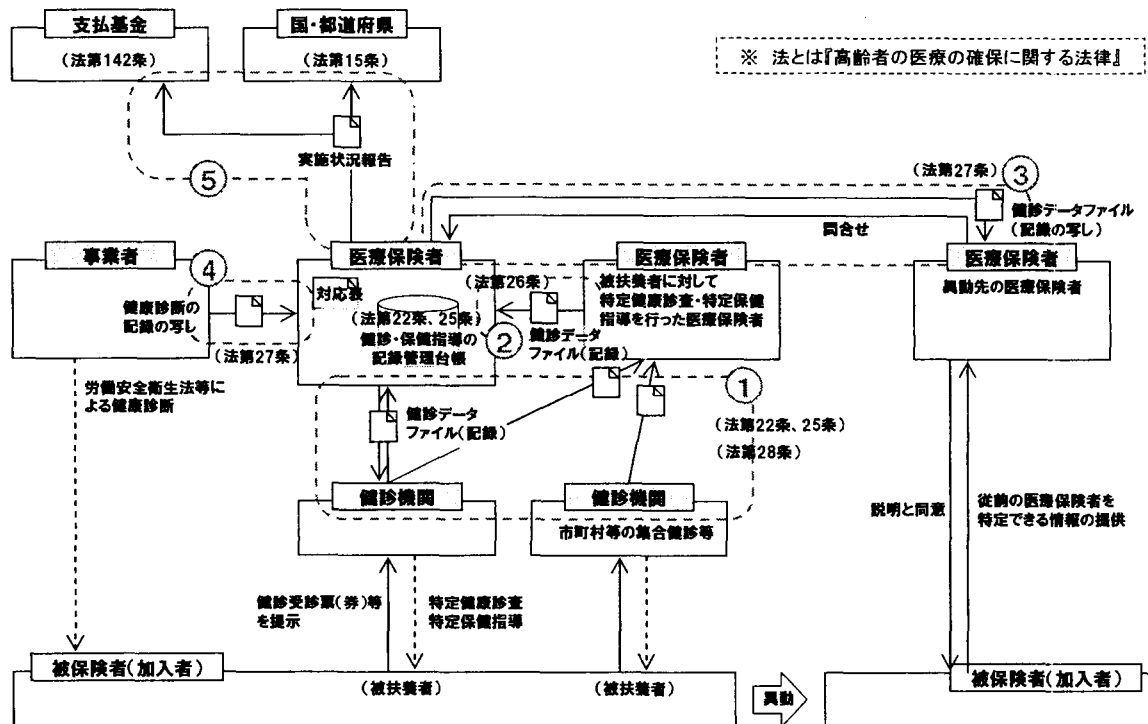
※検査方法については、それぞれの検査項目毎に90%以上をカバーするものを記載した。

※項目名については原則JLAC10の表記と同様。(一部については、日本臨床検査医学会コード委員会にて検討中のもの)

健診データの電子的標準様式が使用される場合



健診データの電子的標準様式が使用される場合



別紙7-1

電子の標準様式イメージ

Table with columns for equipment type, model, and specifications. Includes items like 'デジタル式血圧計' and 'デジタル式体温計'.

(注) 単位: ㎍/dl, ㎍/100ml, ...

別紙7-1

電子の標準様式イメージ

Table with columns for equipment type, model, and specifications. Includes items like 'デジタル式血圧計' and 'デジタル式体温計'.

(注) 単位: ㎍/dl, ㎍/100ml, ...

データ範囲のチェック

番号	項目名	データタイプ	入力最小値	入力最大値	少数点以下の桁数	単位	基準範囲外 ※1	検査の実施 ※2	備考
31	身長	数字	100.0	250.0	1	cm			
32	体重	数字	20.0	250.0	1	kg			
33	BMI	数字	10.0	100.0	1	kg/m ²			
34	腕囲	数字	40.0	250.0	1	cm			
36	血圧(収縮期)	数字	60	300	0	mmHg			
37	血圧(拡張期)	数字	30	150	0	mmHg			
38	トリグリセライド	数字	10	2000	0	mg/dl			
39	HDLコレステロール	数字	10	500	0	mg/dl			
40	LDLコレステロール	数字	20	1000	0	mg/dl			
41	AST(GOT)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
42	ALT(GPT)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
43	γ-GT(γ-GTP)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
44	空腹時血糖	数字	20	600	0	mg/dl			
45	随時血糖	数字	20	1000	0	mg/dl			
46	血清尿酸	数字	0.0	20.0	1	mg/dl			
47	HbA1c	数字	3.0	20.0	1	%			
48	血清クレアチニン	数字	0.0	20.0	1	mg/dl			
50	ヘマトクリット値	数字	0.0	100.0	1	%			
51	血色素量[ヘモグロビン値]	数字	0.0	30.0	1	g/dl			
52	赤血球数	数字	0	1000	0	万/mm ³			
1002	実施度(コンプライアンス)	数字	0	100	0	%			
1003	効果1(腕囲)	数字			1	cm			
1004	効果2(体重)	数字			1	kg			

(表の説明)

※1 基準範囲外: 健診データが入力最小値以下の場合は「L」、入力最大値以上の場合は「H」を入力する。

※2 検査の実施: 健診データが未入力で検査を実施の場合は「未実施」を入力する。

データ範囲のチェック

番号	項目名	データタイプ	入力最小値	入力最大値	少数点以下の桁数	単位	基準範囲外 ※1	検査の実施 ※2	備考
31	身長	数字	100.0	250.0	1	cm			
32	体重	数字	20.0	250.0	1	kg			
33	BMI	数字	10.0	100.0	1	kg/m ²			
34	腕囲	数字	40.0	250.0	1	cm			
36	血圧(収縮期)	数字	60	300	0	mmHg			
37	血圧(拡張期)	数字	30	150	0	mmHg			
38	トリグリセライド	数字	10	2000	0	mg/dl			
39	HDLコレステロール	数字	10	500	0	mg/dl			
40	LDLコレステロール	数字	20	1000	0	mg/dl			
41	AST(GOT)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
42	ALT(GPT)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
43	γ-GT(γ-GTP)	数字	0	1000	0	IU/l 37℃			
44	空腹時血糖	数字	20	600	0	mg/dl			
47	HbA1c	数字	3.0	20.0	1	%			
50	ヘマトクリット値	数字	0.0	100.0	1	%			
51	血色素量[ヘモグロビン値]	数字	0.0	30.0	1	g/dl			
52	赤血球数	数字	0	1000	0	万/mm ³			
1002	実施度(コンプライアンス)	数字	0	100	0	%			
1003	効果1(腕囲)	数字			1	cm			
1004	効果2(体重)	数字			1	kg			

(表の説明)

※1 基準範囲外: 健診データが入力最小値以下の場合は「L」、入力最大値以上の場合は「H」を入力する。

※2 検査の実施: 健診データが未入力で検査を実施の場合は「未実施」を入力する。

健診データ電子のフォーマット(イメージ)

※このイメージは簡易試験には英語表記/可読性もあり

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<健診データファイル>
  <定義部 識別番号="e001" 仕様番号="1.0.0">
    <!-- 送付元 -->
    <送付元種別>1</送付元種別>
    <送付元機関番号>0103123412341</送付元機関番号>
    <送付元機関名称>健診機関A</送付元機関名称>
    <!-- 送付先 -->
    <送付先種別>0</送付先種別>
    <送付先機関番号>06123456</送付先機関番号>
    <送付先機関名称>A健康保険組合</送付先機関名称>
    <!-- ファイル情報 -->
    <ファイル生成日付 年="2008" 月="10" 日="01"/>
    <ファイル更新日付 年="2008" 月="10" 日="01"/>
    <格納記録数>2</格納記録数>
  </定義部>
  <記録部>
    <!-- 特定健診 1人目 -->
    <健康診査記録 番号="1">
      <基本>
        <作成日付 年="2008" 月="07" 日="30"/>
        <健診機関番号>0103123412341</健診機関番号>
        <健診機関名称>健診機関A</健診機関名称>
        <健診区分>03</健診区分>
        <実施日付 年="2008" 月="07" 日="20"/>
        <健診データ登録番号>03123456781234567801</健診データ登録番号>
        <生年月日 年="1958" 月="07" 日="20"/>
        <性別>M</性別>
      </基本>
      <記録>
        <健診項目 名称="身長" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="cm" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="174.2" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="体重" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="kg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="69.8" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="BMI" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="kg/m2" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="23.0" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="腹囲" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="cm" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="78.0" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="収縮期血圧" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="mmHg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="124" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="拡張期血圧" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="mmHg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="70" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="随時血糖" JLAC10="302710" 基準下限="20" 基準上限="1000" 単位="mg/dl" データタイプ="数値" データコメント="食後時間 120分" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="1650" 判定コード="H"/>
        <健診項目 名称="HbA1C" JLAC10="302880" 基準下限="3.0" 基準上限="20.0" 単位="%" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="5.1" 判定コード=""/>
      </記録>
    </健康診査記録 番号="1">
  </特定健診 1人目 -->
  </健康診査記録 番号="1">
</記録部>
</健診データファイル>

```

...

健診データ電子のフォーマット(イメージ)

※このイメージは簡易試験には英語表記/可読性もあり

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<健診データファイル>
  <定義部 識別番号="e001" 仕様番号="1.0.0">
    <!-- 送付元 -->
    <送付元種別>1</送付元種別>
    <送付元機関番号>0103123412341</送付元機関番号>
    <送付元機関名称>健診機関A</送付元機関名称>
    <!-- 送付先 -->
    <送付先種別>0</送付先種別>
    <送付先機関番号>06123456</送付先機関番号>
    <送付先機関名称>A健康保険組合</送付先機関名称>
    <!-- ファイル情報 -->
    <ファイル生成日付 年="2008" 月="10" 日="01"/>
    <ファイル更新日付 年="2008" 月="10" 日="01"/>
    <格納記録数>2</格納記録数>
  </定義部>
  <記録部>
    <!-- 特定健診 1人目 -->
    <健康診査記録 番号="1">
      <基本>
        <作成日付 年="2008" 月="07" 日="30"/>
        <健診機関番号>0103123412341</健診機関番号>
        <健診機関名称>健診機関A</健診機関名称>
        <健診区分>03</健診区分>
        <実施日付 年="2008" 月="07" 日="20"/>
        <健診データ登録番号>03123456781234567801</健診データ登録番号>
        <生年月日 年="1958" 月="07" 日="20"/>
        <性別>M</性別>
      </基本>
      <記録>
        <健診項目 名称="身長" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="cm" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="174.2" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="体重" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="kg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="69.8" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="BMI" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="kg/m2" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="23.0" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="腹囲" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="cm" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="78.0" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="収縮期血圧" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="mmHg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="124" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="拡張期血圧" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="mmHg" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="70" 判定コード=""/>
        <健診項目 名称="随時血糖" JLAC10="302710" 基準下限="20" 基準上限="1000" 単位="mg/dl" データタイプ="数値" データコメント="食後時間 120分" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="1650" 判定コード="H"/>
        <健診項目 名称="HbA1C" JLAC10="302880" 基準下限="3.0" 基準上限="20.0" 単位="%" データタイプ="数値" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="5.1" 判定コード=""/>
      </記録>
    </健康診査記録 番号="1">
  </特定健診 1人目 -->
  </健康診査記録 番号="1">
</記録部>
</健診データファイル>

```

...

標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）

修正案

```

...
...
<健診項目 名称=" 既往歴 3(腎不全・人工透析)" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="" データタイプ
="コード" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="1" 判定コード="" ></健診項目>
</記録>
</健康診査記録>

<!-- 特定健診 2人目 -->
<健康診査記録 番号="2">
...
...
...
</健康診査記録>
</記録部>
</健診データファイル>
<!-- ファイル終了 -->

```

```

...
...
<健診項目 名称=" 既往歴 3(腎不全・人工透析)" JLAC10="" 基準下限="" 基準上限="" 単位="" データタイプ
プ
="コード" データコメント="" 検査手法="標準" 方法コメント="" 値="1" 判定コード="" ></健診項目>
</記録>
</健康診査記録>

<!-- 特定健診 2人目 -->
<健康診査記録 番号="2">
...
...
...
</健康診査記録>
</記録部>
</健診データファイル>
<!-- ファイル終了 -->

```